

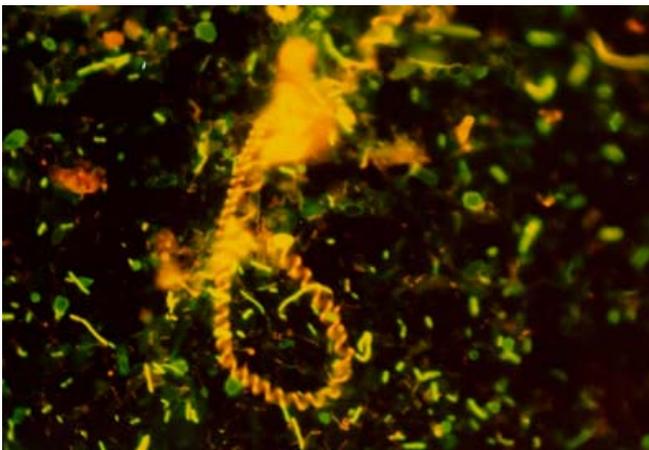
びせいぶつ
「土の微生物の不思議なちから
しよくぶつ かんきょう
ー植物を助け、環境をきれいにする働き者ー」

講師：片山葉子（国立大学法人東京農工大学農学部）

授業の内容

わたしたちの足下にある土の中には、とてもたくさんの微生物（目に見えない小さな生き物たち）が住んでいます。この小さな生き物たちは毎日何をしているのでしょうか？ 考えたことがありますか？ じつは、人間や植物にとって、とても役に立つことをいっぱいしてくれているのです。

この授業では、土や堆肥たいひの中の微生物がどんな働きをしているか、私たちの生活とどんな関係があるのか、いつごろ地球上に生まれたのかなどについて、わかりやすく説明したいと思います。また、微生物そのものや、微生物に関係した画像を見たり、簡単な実験をします。



☞ 生ごみ堆肥の中の微生物。
らせん状の物体は野菜くずが分解しかかったもの。黄緑色の粒は生きている菌、オレンジ色の粒は死んでいる菌。大きい粒子は酵母菌、小さい粒子は細菌。

連絡先 国立大学法人東京農工大学内日本土壤微生物学会事務局 豊田剛己
〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16、電話&Fax 042-388-7915

授業内容

1. 微生物ってなに？
2. 土の中のいろいろな微生物の働き
 - 1) 植物を助ける微生物
 - 2) 堆肥を作る微生物
3. 環境をきれいにする微生物

実物や画像で見せるもの

1. シャーレ上のカビとバクテリアのコロニー
2. カビやバクテリアの顕微鏡写真
3. 植物を助けている微生物の写真

実験

1. 砂糖水に酵母菌を入れるとどうなるか？
2. 堆肥のにおいをかいでみよ

